

2024年度 事業計画書



000:法人本部 所割分

基本方針

時代の変化にチャレンジする法人であるために

2024-1-1、石川県能登地方を震源とする大きな地震が発生しました。死亡者241人、安否不明9人、避難者 1万1735人、住宅被害 7万7804棟(2024-2-26現)と、多くの方が負傷、さらには建物や家屋の損壊など、甚大な被害が発生しています。謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げますと共に、一日も早く復旧されることをお祈りいたします。

また、2024-1-2、羽田空港での航空機事故に関して、お亡くなりになられた海上保安庁職員のご冥福をお祈りしますとともに、ケガを負われた方や損害を被った方々へ心よりお見舞いを申し上げます。

さて、昨年5月に新型コロナウイルス感染症は、感染症法上5類に変更され、世の中も感染拡大前の様相を呈してきました。しかし、私達の仕事の性格上、常に感染症対策を取りながら利用者の安心安全に努めてきた事から、以前の暮らしを取り戻しつつ、一方では感染対策を継続する両輪で事業を進めてまいります。

昨年からの社会情勢に目を向けますと、世界の不確実性はますます高まっています。ウクライナ、イスラエル、ガザ地区、ミャンマー、北朝鮮など、暴力や人権弾圧に苦しみ続けられています。戦闘の終息が見えないばかりか、子ども達をはじめとした一般人の犠牲者が日に日に増えていくことに心を痛めています。ここ日本が「新たな戦場」とならないため、国民が平和を求めて声をあげていくことが重要と考えます。武力や暴力や抑圧は、平和を実現する手段にはならず、言葉を用いたコミュニケーション、コンセンサスを得ながら、一つひとつの課題に向き合う事の重要性を改めて感じています。

世界全体の情勢では「DEI」が注目されています。「Diversity (ダイバーシティ、多様性)」「Equity (エクイティ、公平性)」「Inclusion (インクルージョン、包括性)」の頭文字からなる略称ですが、職員それぞれが持つ多様な個性が最大限に活かせる事が、より高い価値創出につながるという認識が近年広がりを見せています。また、ジェンダー平等の観点では、女性役員の世界標準50%に対し、当法人女性役員の割合は33%。管理職の割合は60%となります。ジェンダー平等や多様性推進は、このように定量的に把握することができるものの、そもそも女性が多い当職場においても世界基準を満たさない事を、単なる数合わせで実現するのではなく、中身の伴った行動の実現が必要不可欠と考えるからです。

最後に、私達の福祉の状況を見ると、新年度には診療報酬・介護報酬・障害福祉サービスのトリプル改定があり、私達のとりまく環境は厳しい状況が続くことが予測されています。人材確保不足も深刻な問題となっており、必要な方にサービスを提供する基本姿勢が崩れ始めています。

そのような状況下においても、今こそ「元気の里になりたい自分になる基準」を考え、「自分がどうなりたいか…」「どんな事業所になりたいか…」「どんな支援をしたいか…」「利用者の立場になった時どうか…」「自分が利用するならどのような事業所が良いか…」「家族の立場になったらどうだろうか…」「社会の期待感はどうだろうか…」を一人一人が見つけ直す時だと考えます。

結びに、コロナ禍を経て大きな時代の変革の波に身を委ねているような感覚にあります。時代の変化を恐れる事なく、利用者にとって安心な社会で暮らし続けられるよう、私達が変化を先取りしつつ、ミエル化やスピードアップに取り組む姿勢を進めていきます。変化、変革には不安が付きまとうものの、職員一丸となり歩み進めていく事が重要と考えています。

新年度も法人に対する一層のご支援をお願いし、皆さまの益々のご健勝とご活躍を祈念しつつ本計画書のメッセージといたします。

2024. 3. 22

社会福祉法人元気の里とち
理事長 櫻井 博一

年度法人重点目標(新規)

(1) 法人理念の浸透

法人理念は、当法人が結成されてから変更する事なくあります。今一度理念教育を進め文言の意味を一人一人が再確認できる瞬間を構築します。その取組として新規職員研修や、WEBなどを活用し、法人理念→事業所計画→個人計画に結びつけられるよう意識の統一を図れるよう勧めます。

(2) なりたい自分になる基準の理解を進める

法人に働くスタッフは経験者が多く在籍するものの、新規未経験スタッフも一定数入職します。仕事の姿勢や取組、何の為、誰の為に働くのか。その目的意識が理解出来るよう、このシートを活用します。

(3) フィロソフィーブックの浸透

フィロソフィーブックの第一版を作成してから3年が経過しました。職員へメール等で周知するたび、新規職員研修のたびに照会するものの、残念な事に浸透が進みません。さらに勤務経験7年のスタッフも閲覧した事がないとの意見も頂きました。今年度も閲覧できるよう案内の継続を進めます。

(4) 新規事業の検討

人材難のいまだからこそチャレンジし続ける法人である為、新規事業の検討に入ります。

(5) 新報酬改定に伴う加算の取得

LIFEに始まる、介護報酬加算の取得を進めます。

年度法人重点目標(継続)

(1) 人材育成と外国人人材の採用

外国人人材の適材採用を今後も進めていきます。さらに、役職者の育成は急務です。研修会などの学びを通じ役割を再認識する必要があります。さらに2040年69万人介護職員不足に対する、マンパワーを確保する為、アルバイトやサブリタイヤ等の人材起用を積極的に行うなど、規則を見直し続けます。

(2) 学び

WEB学習のアクセス率向上により、自分の技術をミエル化します。さらに法人研修や委員会の見直しを進め、参加意義を高めます。

(3) 事業の信頼性

法人が経営する事業は公的サービスの趣旨のもと法令順守が求められています。適正な法人運営を行う為、チェック体制の見直し及び強化を図ります。法人本部としては、理事会・評議員及び監事監査による管理体制の強化を充実し、内部では、稟議書など起案によるチェック体制を強化してまいります。

(4) 事業の経営安定

法人が開設する、事業の経営安定を図り、地域に根差した福祉を提案します。

(5) リスク管理

疾病把握、誤薬、健康管理等、安全管理に対する考え方を再認識し、各事業所から出されるヒヤリハットの収集や分析も行い、利用者が安心して各事業所を利用いただける環境を作ります。具体的には事業所単位で設置されている各委員会などが分析できるような仕組みを検討していきます。

(6) 苦情相談窓口

利用者及び家族から苦情がある場合、適切な人材や適切な第三者機関と連絡が出来るよう、契約書の中に記載方法を工夫するほか、事業所内においても確認できる工夫を行います。

(7) 人事管理

人事考課制度を充実させ、職員のやる気が引き出せる体制を作り上げます。夏、冬には事業所長との面談を実施します。

(8) パートナー企業との連携

2023年度として掲げた目標でしたが、パートナー企業に勤務する職員との結びつきは一定の効果が出来たものの、まだ10%程度と分析します。ひき続き、地域課題をパートナー企業との連携により解決をはかる為の行動を起こします。

社会福祉法人元気の里とかちの理念

社会福祉法人元気の里とかちは、平成23年4月1日に各関係者のご理解の元、社会福祉法人格を取得いたしました。この法人は平成12年6月に認証となった「NPO法人元気の里とかち」からの事業を継承しております。下記の3つの理念に向かい民間社会福祉事業者としての役割を果たしてまいります。

法人の理念

“利用者満足” “尊厳の保持” “個別支援の充実”

(1) “利用者満足”

企業に求められているもの、それは「顧客を100%満足させる事」である。
社会福祉法人元気の里とかちの全ての利用者が100%満足いただけるサービスを提供する事こそが私たちの与えられた使命だと考えています。

(2) “尊厳の保持”

介護保険法や虐待防止法では、尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう各種制度が設けられている。

社会福祉法人元気の里とかちは常に利用者の立場に立ち、ソーシャルインクルージョンを実践します。

※ソーシャルインクルージョン＝包括的社会・包含的社会と訳され、2000年12月に厚生労働省でまとめられた「社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会報告書」には、社会的に弱い立場にある人々を社会の一員として包み支え合う、ソーシャルインクルージョンの理念を進めることを提言している。ここではノーマライゼーションを更に進めた理念であると解釈しています。

(3) “個別支援の充実”

全ての施設の全ての援助者は、一人ひとりにあったケアを実践してきたはずである。ただ、それは本当に利用者本位、利用者中心の考えに基づいたものだったのか。

社会福祉法人元気の里とかちはエンパワメントアプローチを展開し、利用者のニーズがキャッチできる援助技術を磨きます。

※エンパワメントアプローチ＝「差別・偏見などの対象となり本来有している力を発揮しきれない状態にある人々に対して、その力を引き出す援助技法」である。1976年、米国のソロモンが差別・偏見を経験する黒人に対する援助実践の枠組みとしてこの概念を提示した事から始まった。自ら問題解決を図るアプローチの方法です。事業所の基本方針

社会福祉法人元気の里とかちが運営する事業所は下記のとおりです。
NPO法人から事業継承し、長年の歴史を刻んでいる事業所もある事から運営の基礎は完成されているものと考えます。「地域密着型事業」という言葉が全面的に取り上げられている現状を考える時、社会からの期待度は益々大きくなり、時代をリードする事業所運営が必要とされています。

社会福祉法人に与えられている使命を全職員が理解し、個々に学習すると共に、各事業の問題点を洗い出し、計画的に事業がすすめられるよう取組んでまいります。

【現在の事業所一覧】

事業所と定員 開設年月日と実施市町村

- 1 グループホーム彩～いろどり～ 定員18人(平成12年12月開設) 音更町
 - 2 グループホーム元気の里さらべつ 定員18人(平成14年 4月開設) 更別村
 - 3 グループホーム奏～かなで～ 定員18人(平成14年12月開設) 帯広市
 - 4 グループホームひびき野 定員18人(平成22年 3月開設) 音更町
 - 5 グループホーム清流の里 定員18人(平成27年3月開設) 帯広市
 - 6 小規模多機能型居宅介護 清流の里 定員29人(泊9人) (平成27年 3月開設) 帯広市
 - 7 小規模多機能型居宅介護奏～かなで～ 定員29人(泊9人) (平成30年 3月開設) 帯広市
 - 8 サービス付き高齢者向け住宅つながり 定員21人 (平成27年 3月開設) 帯広市
 - 9 サービス付き高齢者向け住宅おたがいさま 定員21人 (平成30年 3月開設) 帯広市
 - 10 地域密着型介護老人福祉施設 奏 定員29人 (平成30年 3月開設) 帯広市
 - 11 短期入所施設 奏 定員1人(平成30年 3月開設) 帯広市
 - 12 木野東の家学童保育所 定員210人 (平成27年 4月受託) 音更町
 - 13 下士幌学童保育所 定員50人 (平成27年 4月受託) 音更町
 - 14 鈴蘭学童保育所 定員140人 (平成29年 4月受託) 音更町
 - 15 下音更学童保育所 定員50人 (平成29年 4月受託) 音更町
 - 16 下音更学童保育所分室 定員15人 (平成29年 4月受託) 音更町
- 施設数 介護事業所5か所(ベット数180・通所定員58名) 学童事業所5か所

事業所重点目標など

ア 各種日課や行事、介護計画の見直し

行事計画やレクリエーション計画、介護及び保育計画の見直しを行います。誕生会や季節の行事、その他の行事計画は、対象者達が期待する以上の効果をもたらしているか。時にそれは職員の満足のみであり利用者の尊厳は守られているか。介護及び保育計画書も同様、本人達の持つ力を発揮できるような計画なのか。全ては法人理念及び事業所理念にある個々のニーズに対応できる企画・立案がなされているかをあらためて検証します。

イ 事業所内の情報共有の徹底

介護職及び保育職の勤務は交代制であり、情報を共有する仕組みが必要となります。介護では、疾病、入通院、面会、介護計画、ADL等。保育では、学校や家庭での様子、成長過程での精神状態・身体状況の把握等。どの情報が欠けても利用者の生活や生命に関わる問題と直面します。

各種記録内容の確認は当然の事、「報告・連絡・相談」の『報連相』を徹底し情報の共有を密にします。

また、施設内の情報はパソコンでデータを共有、システム化し、ケア記録や日誌の大部分の個人データはシステム業者のサーバーで一括管理すると共に、各事業所にデータを残しません。

(介護システムは㈱ケアコラボの「ケアコラボ」を。保育システムは日立システムズの「コドモン」を使用し、各事業所間を結び法人事務局で管理します。)

ウ 職員それぞれのスキルアップ

新卒や業務経験者など、介護者の技術力及び経験値は様々です。法人内研修の参加・職場外研修の参加を行い、個々のスキルアップを図ります。又、職員が自主的に行う各種検討委員会の取組を今後も継続、評価し、企画する・検討する・報告する等、職員の考える力を強化しながらモチベーションを高めます。

エ 事故防止・身体拘束廃止の徹底

職場内研修や職場外研修を開催し「事故防止・身体拘束廃止」による検討委員会につなげていきます。各事業所に備え付けている緊急対応マニュアルなどが本当に機能するかをシュミレーションし、見直しを図っていきます。

各事業所のケアの理念

① 認知症対応型共同生活介護

1. ご利用される方をありのままに受け入れ一人ひとりの時間が持てるように努めます。
2. 暖かく元気の詰まった家庭をみんなで作ります。
3. ご利用される方の出来る事、出来ない事を見極め活力ある生活を送れるようにお手伝いします。

② 小規模多機能型居宅介護

1. お年寄りの尊厳を大切にし、自己決定と個性の尊重に努めます。
2. 寄り添い、馴染みの関係を築くことで、安心して元気になれる生活をお手伝いします。
3. 毎日が、イキイキ・ワクワクと過ごせるよう工夫と努力をします。

③ 特別養護老人ホームの理念

1. 私達は、ご利用者様の喜怒哀楽を尊重させていただきます。
2. 生き生きとした人生が送れるよう、寄り添います。
3. おもてなしの心で、喜びを引き出すことができるよう努力します。

④ 学童保育所

1. 社会性を育み、仲間を大切にできる子。
2. 思いやり、心豊かな子
3. 親の願いを受けとめ、大切にできる子。

学童保育所 5つの基本方針

1. 一人ひとりの子どもを理解し、信頼関係を築きます。
2. 子どもが生き生きと生活できる保育環境を提供します。
3. 話し合いを大切にします。
4. 異年齢集団のなかでの子ども達の成長と社会性を大切にします。
5. 家庭や地域社会と連携していきます。